

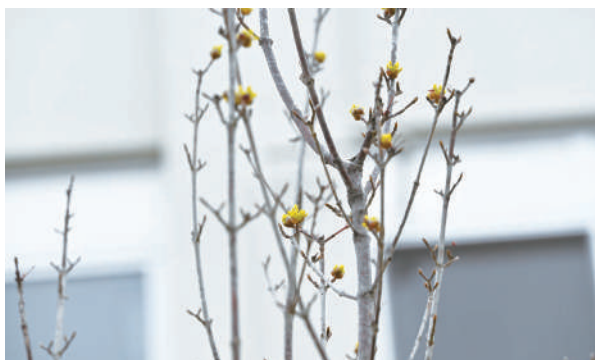
工陵

小山高専だより

小山工業高等専門学校 入学式



令和8年度入学式を挙行



2月 60周年記念植樹のサンシュユが開花



4月 50周年記念植樹のオモイガワザクラが満開に



6月 30周年記念植樹のナツツバキが開花

Vol.22

2026.6

目次

学校長挨拶

思索（おもひ）の深き技術者となれ…………… 2

主事・専攻科長挨拶

何を学ぶか…………… 3

「知る」を楽しむ1年に…………… 3

充実した学生生活を…………… 3

知恵と勇気と心…………… 3

学級担任等の紹介…………… 4

新入生に贈る言葉…………… 5

新任教員挨拶…………… 6

創立60周年記念事業について…………… 6

KOSEN PARK…………… 7

学生相談室からのお知らせ…………… 7

保健室より…………… 7

学生会ニュース、学寮ニュース…………… 8

独立行政法人国立高等専門学校機構



小山工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Oyama College

<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.201

※従来の小山高専Quarterlyから工陵・小山高専だよりへ変更しました。



思索（おもひ）の深き技術者となれ

校長 鶴見 智

本校は昨年創立60周年を迎えた。本校が小山市に、また中久喜の地にキャンパスを置くことができたのも、「小山市に産業と教育を」という小山市初代市長山中泰輔氏の強い思いのたまものである。あらためて感謝したい。ところで、本校の教育理念「技術者である前に人間であれ」は、昭和40年初代島津秀雄校長が本校開校式の告辞で述べられた言葉から取られ、以来60年連綿と受け継がれてきた。いわば小山高専の教育の根幹である。しかし、この言葉の先に示そうとした目指すべき技術者はどんなものだったのだろうか。考えてみたい。

小山高専校歌の2番の終わりにこうある。「思索（おもひ）の流れ絶えせず豊かな心をなさむ」。思索は「しさく」でなく「おもひ」とフリガナがふられている。本校のアントレプレナー教育の基地となっている思索（おもひ）Factoryや学習支援スペースである思索（おもひ）Caffeに使われている思索（おもひ）は、この校歌から取られている。校歌に使われている思索（おもひ）は、小山市民が愛する思川のことである。この当て字にすることで小山を愛する気持ちが込められていると思う。また、漢字の思索（しさく）は「論理的に筋道を立てて考える」ことを意味するが、これは技術者に必要なスキルのことである。すなわち、校歌には小山を愛すると同時に技術者に必要なスキルを身につけることの意味も併せもたせたと理解できる。

私は、思索（おもひ）にさらに2つの意味を併せもたせたい。一つ目は「相手を思い（おもい）やる心をもつこと」、二つ目は「未来への思い（おもい）をもつこと」である。ここでの思いは夢、希望のことである。こうして、目指すべき技術者像が明らかになってくる。すなわち「小山を愛し」、「技術者に必要なスキルを深め」、「相手を思いやる心もち」かつ「未来への思いをもつ」技術者である。私は、こうした資質をもつ技術者を「思索（おもひ）の深き技術者」と呼ぶことにする。

まとめると本校の教育理念は「技術者である前に人間であれ」そして「思索（おもひ）の深き技術者となれ」となる。これを、小山高専61年目に歩みだす全学生へ贈る。



■ 何を学ぶか



副校長（教務主事）
伊澤 悟

一般科目、専門科目、座学、実験実習、製図、卒業研究など、高専で履修する科目は沢山あり、卒業までに167単位を修得する必要があります。就職や進学の面接でも得意科目、苦手科目は何と聞かれることも多く、自分の得意を伸ばし、苦手を克服できるように努力して下さい。さて、学校はそのほかにも様々なことを学ぶ場で、学習以外でも学生のうちに学んでもらいたいことが数多くあります。時間を有効に使うことや、自立した行動を身につける、特に集団生活の中において他者を尊重し周囲の人々とどのようにコミュニケーションを取るかなどです。このことは、ネットやAIが教えることは出来ても、実践は学校という集団生活の中で自分自身で獲得する必要があります。学生生活の中で、自分自身の物差しだけで判断するのではなく、集団の中の一員として自分自身の振る舞いについて学び、人の気持ちの分かる懐の深い大きな人間として成長して欲しいと思います。

■ 「知る」を楽しむ1年に



校長補佐（学生主事）
本多 良政

新年度になり、新しい科目の授業がすでに始まっています。新たな知識や考え方を学ぶ喜びや、自らの視野が広がっていく楽しさを感じていることと思います。

ところで、学校の授業以外にも学びの場があることに気づいていますか。日常生活の中の気づきから多くのことを学べます。昨今は、インターネットを通して様々な情報を得ることができ、特に関心のある情報は自動的に配信されることもあります。一方で、自分から目を向けないと得られない情報もあります。日常生活の中で多くのことに関心を持ち、様々な情報に触れることで、幅広い視野や考え方を身につけることができます。

また、人との関わりにおいても、相手を知り、理解することは大切です。学校生活において思いやりの気持ちを持つように呼びかけています。そのためには、相手のことをよく知り、理解することが大切です。友達のことを十分に理解していないと、善意の行動であっても、友達にとって望ましくないものとなる場合があります。普段の会話や行動を通して、相手を知ろうと心がけてほしいです。

勉強や日常生活、そして友達との関わりの中で、「知ること」を楽しみながら成長する一年にしてほしいと思います。

■ 充実した学生生活を



校長補佐（寮務主事）
渥美 太郎

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本年度寮務主事を務めます。よろしくお願いします。高専での生活は、中学校までとは大きく違い、自分で考え、選び、行動する場面がぐっと増えてくると思います。最初は不安や戸惑いもあると思いますが、それは新しい一歩を踏み出しているということです。皆さんの挑戦を支えてくれる先生方や職員、そして仲間がたくさんいます。わからないことがあれば、どうか一人で抱え込まず、周りを頼ってください。

在校生の皆さん、新年度が始まりました。「いつかやろう」と思っていたことを始めるなら今です。小さな一歩でも構いません。過去の延長線上に留まる必要はありません。これまでの経験を糧に、さらに一歩、自分の可能性を広げる挑戦を始めてみてください。皆さんの新たな選択と挑戦は、成功も失敗も含めてすべてが皆さんの未来の糧となります。今年度が皆さんにとって実り多き1年となることを心より期待しています。

■ 知恵と勇氣と心



校長補佐（専攻科長）
今泉 文伸

専攻科生の皆さん、新しい学びの場での生活にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。4月からの環境の変化、専門性の高い授業や研究活動の中で、期待とともに戸惑いを感じた場面もあったかもしれません。

『オズの魔法使い』では、ドロシーたちが知恵や勇氣、心を求めて旅をします。しかし、その力は遠くにある特別なものではなく、旅の中での経験や仲間との関わりを通して、すでに自分たちの中に育っていたことに気づきます。

専攻科での学びも同じです。研究に向き合い、課題に悩み、仲間や教員と議論する日々の中で、皆さんの専門力、判断力、そして人としての強さは確実に磨かれていきます。時には思うように進まないこともあるでしょう。しかし、その試行錯誤こそが、次の一歩を支える力になります。

どうか自分の可能性を信じ、仲間と支え合いながら、それぞれの道を力強く歩んでください。皆さんのこれからの成長と挑戦を、心から応援しています。



学級担任等の紹介

専攻科



機械工学コース主任
那須 裕規
機械工学科



電気電子創造工学コース主任
北野 達也
電気電子創造工学科



物質工学コース主任
田中 孝国
物質工学科



建築学コース主任
大島 隆一
建築学科

5年

機械工学科



那須 裕規
機械工学科

電気電子創造工学科 (L) 電気電子創造工学科 (R)



鈴木 真ノ介
電気電子創造工学科



平田 克己
電気電子創造工学科

物質工学科



笹沼 いづみ
物質工学科

建築学科



大和 征良
建築学科

4年



増淵 寿
機械工学科



佐藤 健
電気電子創造工学科



長尾 和樹
電気電子創造工学科



西井 圭
物質工学科



佐藤 篤史
建築学科

3年



川村 壮司
機械工学科



鹿野 文久
電気電子創造工学科



大内 翔平
電気電子創造工学科



加島 敬太
物質工学科



崔 熙元
建築学科

2年



森下 佳代子
一般科



長田 朋樹
一般科



荒武 永史
一般科



岡田 崇
一般科



吉村 理英
一般科

1年



有坂 夏菜子
一般科



杉山 桂子
一般科



上野 哲
一般科



加藤 清考
一般科



増山 知也
一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任
有坂 夏菜子

ご入学おめでとうございます。

小山高専という新しい環境での生活が始まり、数か月が経ちましたね。はじめは緊張もあったことと思いますが、最近では、皆さんの表情にも落ち着きが見られるようになってきたように思います。これからの学生生活では、さまざまな経験を重ね、多くのことを学んでいくことでしょう。5年間は長いようで、あっという間に過ぎていきます。学習だけでなく、部活動や学校行事にも積極的に参加し、自分の可能性を大きく広げてください。まだ将来の夢ははっきりしていない人もいますが、日々を大切に過ごす中で、自分の目標も少しずつ見えてくるはずです。皆さん一人ひとりが成長していく姿を楽しみにしています。そして卒業の頃には、大きく成長した皆さんに会えることを心から期待しています。



電気電子創造工学科(L)
1年担任
杉山 桂子

今、これを執筆しているのは5月末。特別時間割（いわゆる中間試験期間）を数日後に控えた放課後です。とある1年生の教室では、10人ほどの学生が残り、机に向かったり黒板を使ったりしながら、個人あるいはグループで試験勉強に励んでいます。

この光景を今年も目にすることができ、嬉しく思います。試験という最初の山を前に、不安を抱えながらも、やるべきことから目を背けず一步一步進もうとする学生たちの姿にエネルギーを感じます。

皆さんがこれからいくつもの試練を乗り越え、この専攻科（テクノ）棟からそれぞれの専門学科の棟へと羽ばたいていけるよう、精一杯サポートしていきます。よろしくお願いします。



電気電子創造工学科(R)
1年担任
上野 哲

努力目標は設定しても「夢」など持たず（人生は死ぬまで「我慢」の連続になります）、「絶対に」という言葉を使う大人を信用せず（自分の不完全さを知らず、批判的思考ができない人です）、自分の力でなんとか「できる」ことと「できないこと」をきちんと区別し（自分の力が及ばないことに首を突っ込んでも、絶望しか生まれません）、自分の「頭の良さ」は自分のためだけでなく他人のためにも使い（一人の友達もいない高専生活を送りたくなければ）、家の玄関を掃除し、宿題をきちんとやり（詩人のゲーテが死ぬ直前に書いた詩でホントに言ってます。安心を得る最良の方法だと）、先輩や先生には嫌われても後輩には「あんな先輩になりたいな」と思われるような人を目指し（後輩に好かれるのは人望がある人です）…というあたりが、古今東西の哲学者や詩人が唱えた「人生をそこそこうまく生きる術（すべ）」です。ご参考までに。



物質工学科1年担任
加藤 清考

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんが入学して既に2か月が過ぎようとしています。

入学の頃は、皆それぞれ緊張した表情でしたが、5月の球技大会を経て、皆さんの表情にも活気が出てきました。そんな時期の皆さんに、贈りたい言葉。それは『どんなに小さいことでもいいので、目標（灯台）を立て、それに向かって精一杯努力する』ことです。

既に、「自分は将来〇〇になりたい」ということが決まっている場合は、それに向けて段階的に目標（灯台）を立てて経験を積んでいけばよいです。

まだ、将来の目標（灯台）が見えていない人も、毎日の小さな目標をクリアするうちに、次第に見えてくると思います。

皆さんの時期の1分1秒はとても貴重です。

時には目標に向かって、毎日同じことの繰り返しで先が見えず辛い思いをすることもあると思いますが、そういう時期が長いほど、達成した時の喜びも格別です。

私が一時期繰り返し聞いていた曲にBUMP OF CHICKENのsailing dayという曲があります。よかったら一度聴いてみてください。



建築学科1年担任
増山 知也

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学式から2か月が経ち、高専での生活にも慣れてきたでしょうか。「狎れ」にはならないよう学校を楽しんでください。

さて、皆さんにお勧めしたいことの一つが本を読むことです。難しい本でなくて良いのです。ライトノベル、ミステリー、ファンタジー……本を開くことが心の安らぎにつながるといいですね。手元に1冊読みかけの本が必ずある暮らし、いかがですか？

もう一つは生活にメリハリをつけましょう、ということ。がむしゃらに頑張る日とぼーっとする日、仲間たちと大笑いする日とひとりでいたい日、……切り替えがうまくできるといいですね。

これからの5年間で充実したものとなり、そして20年後、30年後に高専に入って良かったな、と振り返る人生になることを願っています。

新任教員挨拶



建築学科
岩城 考信

4月に呉高专からの人事交流により、小山高专建築学科に着任いたしました岩城考信です。専門は建築史・都市史で、これまでタイ・バンコクの水辺空間や高床式住宅、さらに軍港都市・呉とその周辺地域を対象に、古地図やGISを用いた研究を進めてきました。4年間の在任期間中は、東京で暮らす家族との時間を大切にしながら、呉高专で培った教育経験とこれまでの研究で得た視点を活かし、小山高专と地域社会の発展に少しでも寄与できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



一般科担当
北村 勇吉

小山高专の皆さん、はじめまして。今年度赴任いたしました、北村勇吉です。満開の桜並木をくぐり抜けて着任した春から、気づけば新緑の季節を迎えました。活気あふれる皆さんの姿に、私も日々刺激を受けています。

私の専門は「理論化学」です。実験室で試験管を振るのではなく、コンピューターを駆使して分子の謎を解き明かす研究をしています。一見難しそうですが、ゲームのようにシミュレーションを重ねる、とてもワクワクする分野です。

高专生活は新しい挑戦の連続です。もし勉強や研究で行き詰まったら、いつでも研究室を覗いてみてください。皆さんの学生生活を全力で応援します。一緒に楽しい学校生活にしていきましょう！



一般科担当
勝又 彰仁

4月に一般科に着任いたしました勝又彰仁です。主に物理を担当します。私の専門は一般相対性理論とその理論宇宙物理学への応用で、特にブラックホール周辺の星や光の運動について研究しています。物理学は、身のまわりの現象から宇宙のような大きなスケールの現象まで、幅広くつながっている学問です。授業では、公式を覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか」を一緒に考えながら、物理の考え方や面白さを伝えていきたいと思います。まだ不慣れな点もありますが、皆さんの学びを支えられるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

創立60周年記念事業について



小山工業高等専門学校創立60周年記念事業募金に際しましては、多くの皆様より多大なるご厚志を賜り、心より御礼申し上げます。

おかげさまで、100名を超える皆様から約350万円のご寄附をいただき、記念植樹、記念講演会、ホームカミングデイの開催、ならびに記念誌の発行など、

各種記念事業を無事実施することができました。

本記念事業募金は終了いたしました。小山高专応援基金につきましては、引き続きご寄附を受け付けております。

本基金の趣旨にご理解を賜り、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



小山高专応援基金



令和8年5月17日(土) 栃木県宇都宮市で開催された体験型イベント「KOKEN PARK in TOCHIGI」に出展しました。

本イベントは高専生の技術力や発想を地域に発信する場で、約2,900人が来場しました。

小山高専は、アントレプレナーシップチャレンジの紹介に加え、ロボコン実演や操縦体験、「塗る太陽電池」や「はたらく納豆菌」など多彩な体験企画を実施し、特にロボットの实演は子どもたちの人気を集め、来場者がものづくりの魅力を実感する機会となり、会場を大いに盛り上げました。



ロボコン実演



高専プレゼン

学生相談室からのお知らせ

悩みごとや困ったこと、人に聞いて欲しいことなどがありましたら、学生相談室をご利用ください。どのような内容でもかまいません。学生相談室のスタッフは、皆さんが健康で充実した学校生活を送れるようにサポートしたいと考えています。

お気軽にご相談ください。

学生相談室長 山崎 明

▶ カウンセラー等紹介

カウンセラーの小田桐です。学校生活は楽しい事もあれば、大変なこともありますよね。誰かに話にくいことがある時には、相談室に来てもらえたらと思います。話して何になるの?と思う事もあるかもしれませんが、話すことで見つかるものがあったり、気持ちが楽になったりすることもあります。相談することは特別な事ではありません。ぜひ日常の延長として使ってみてくださいね。

カウンセラー 小田桐 俊幸

みなさんこんにちは。今年も、みなさんとお会いすることになりました。話をしてみたいなと思った時には、いつでも気軽に相談室を尋ねてきてください。もし悩みがある時は、一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。上手く話せなくても、こんなことを相談してもいいのかな?と躊躇してしまうような内容でも大丈夫です。まずは一声かけてくださいね。高専生活の一部として、相談室を身近に感じていただけたら嬉しいです。

カウンセラー 田口 明子

皆さんこんにちは。今年もスクールソーシャルワーカーとして在室させていただきます。皆さんの生活の中で「困っていること」、「心配なこと」に対応や支援を行っていきますので、いつでもご相談ください。話をすることで解決へのヒントに繋がることもありますし、自分の強みを見つけるヒントにもなります。好きなことや、得意なことは自分を助けてくれます。皆さんの強みを一緒に見つけていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

スクールソーシャルワーカー 澤山 和之

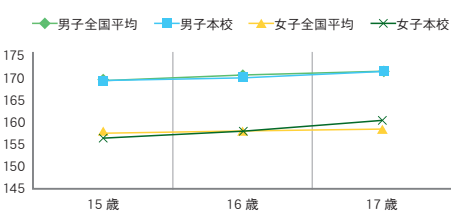
学生相談室 相談申込フォーム



保健室より

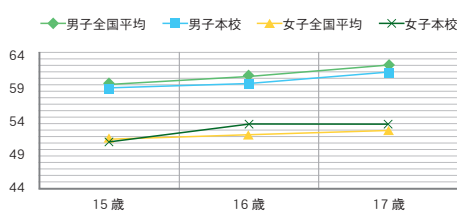
▶ 令和8年度 健康診断結果

● 年齢別身長



身長	15 歳	16 歳	17 歳
男子全国平均	168.6	169.9	170.6
男子本校	168.6	169.4	170.8
女子全国平均	157	157.5	157.9
女子本校	156.2	157.7	159.8

● 年齢別体重



体重	15 歳	16 歳	17 歳
男子全国平均	59.1	60.3	62.2
男子本校	58.6	59.3	60.8
女子全国平均	51	51.9	52.5
女子本校	50.8	53.3	53.5

▶ 令和8年度 学生相談室員

室長	山崎 明 (一般科)
副室長	鹿野 文久 (電気電子創造工学科)
室員	増淵 寿 (機械工学科)
室員	長尾 和樹 (電気電子創造工学科)
室員	田中 孝国 (物質工学科)
室員	文野 光 (建築学科)
室員	加藤 清考 (一般科)
室員	長田 朋樹 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)



GAKUSEIKAI NEWS

学生会ニュース

学生会長 物質工学科4年 小笠原 柊太

令和8年度学生会長を務めさせていただきます、4年物質工学科小笠原柊太です。

若葉が鮮やかに輝き、初夏の訪れを感じる季節となりました。

新年度が始まってから2か月余りが経ち、皆さんも新しい環境に少しずつ慣れてきた頃ではないでしょうか。

学校生活や部活動など、それぞれが目標に向かって努力している姿を、大変頼もしく感じています。

また、今後予定されているさまざまな行事も、皆さんとともに盛り上げていきたいと思ひます。

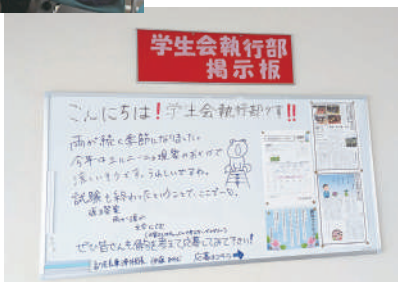
これからの学校生活をより良いものとするため、学生会執行部では、学生一人ひとりの声を大切にしながら、皆さんがより楽しく、思い出深く、充実した学校生活を送れるよう、さまざまな活動に取り組んでまいります。

今年度も、学生会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



◀学生会執行部

管理棟に掲示板を▶
設置しています。
学生の皆さんは
是非ご覧ください。

令和8年度前期寮長
電気電子創造工学科4年 大野 柳真

令和8年度前期寮長を務めさせていただいております、4年電気電子創造工学科の大野柳真です。緑が美しく気候としても過ごしやすい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。青嵐寮では毎年恒例のボウリング大会や新入寮生歓迎会の一環である球技大会でのドッジボール、学寮周辺の掃除を行う寮生ボランティアなど、様々な行事が実施されています。ボウリング大会では学年をこえた交流を深めることができ、普段関わる機会の少ない寮生同士が親睦を深める良い機会となりました。また新入寮生歓迎会では新入寮生を温かく受け入れ、学寮全体の良い雰囲気を感じることができました。その一環として行われる球技大会も学年の壁を越えてチームで協力する白熱した試合を行うことができました。今後も様々な青嵐寮伝統のイベントを通して活発なコミュニケーションを行い、寮にあたかな風を送ってまいりたいと思ひます。日頃より学寮生活を支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。今後とも青嵐寮へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

学寮写真



ボウリング大会



寮生球技大会

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100

編集：小山高専広報戦略室 発行：2026. 6